

工業俱樂部

KAGOSHIMA INDUSTRIAL CLUB

■発行:(公社)鹿児島県工業俱楽部 ■企画・編集:総務・広報委員会 〒892-0821 鹿児島市名山町 9-1 県産業会館内
TEL 099-225-8012 FAX 099-225-8020 <http://www.ikick.or.jp> E-mail:info@ikick.or.jp



令和2年 公益社団法人
鹿児島県工業俱楽部新年大会
各種活動紹介
若手経営者・後継者紹介
新会員情報

令和
2年

公益社団法人

鹿児島県工業俱楽部新年大会

◆日時 / 令和2年1月22日(水) ◆会場 / 城山ホテル鹿児島(パールアメジスト)



会員の交流、資質向上のために毎年実施されている「工業俱楽部新年大会」が1月22日(水)に鹿児島市内のホテルで、約120名が参加して開催されました。今回はオランダがテーマということで、ジェトロ海外調査部欧州ロシア CIS 課長の田中晋氏に「オランダの魅力とビジネス環境」について講演していただいた後、昨年9月のオランダスマート農業現地視察に参加した会員5名がパネルディスカッションを行いましたが、オランダ農業に対して感じた共通の感想は、市場を見据えた合理性・ビジネス化とともに、家族経営の愛情ある農業、心が豊かになる農業ということでした。今後も工業俱楽部では、スマート化について研究を進めていく予定です。

パネルディスカッション登壇者

弓場秋信(ジェトロ鹿児島貿易情報センター会長)、宮原隆和((株)エルム代表取締役)、永井 漸((株)海連専務取締役)、高橋美博((株)グッドコミュニケーションズ代表取締役)、新崎恭史((株)日本政策投資銀行南九州支店長)

また、会員によるプレゼンテーションでは、4社(者)が登壇してそれぞれのセールスポイントについて熱く解説するなど、有意義な新年大会となりました。

プレゼンテーション登壇者

(有)アジャスト「歯科業界の立場から介護業界へアプローチ」
(有)尾塚水産「豊穣の海と阿久根の豊かさを目指して」
林建設(株)「我が社の生産性向上の取り組みについて」
下川 秀一「九州ミャンマー友好協会の歩み、現在の広報とこれから考えている事」



(有)アジャスト



(有)尾塚水産



林建設(株)



下川秀一様



交流パーティー

パネルディスカッション「スマート農業による産業振興、地域振興の可能性」

(弓場) 令和元年9月5日から9日まで、オランダスマート農業を視察した工農連携（オランダに学ぶ）研究会メンバー23名の代表者5名によるパネルディスカッションです。よろしくお願ひいたします。



○ オランダで何を見、何を感じたか？

(宮原) オランダの農業の生産性を高めている重要な要素の一つは、あまり話題になりませんが、温室内を舗装していることです。お陰で無人の電動台車が走り回っているし、湿度の制御も容易です。日本でも昨年から温室内の舗装が認められるようになったと聞いていますが、オランダでは 30m×150m という区画に数 cm の水を張り、水漏れも無く水が引いても水溜りができる舗装技術を持っています。その結果とても大きな省力化を実現しています。またオランダの農業者は立派な産業家であり、仕事にプライドを持っています。

(永井) 私が感じたオランダスマート農業とは「限られた資源を大事に有効活用する農業」「農家の方が無理をしない農業」であり、テクノロジーはその為のツールだということです。また、オランダでは農家の事業継承が出来ています。そしてオランダ国民は生活の質が高いとも感じました。

(高橋) オランダは北海道みたいな土地と気候で、農業に適しています。昔私が取り組もうとしていた農業を実現しています。そして、工場化した最先端農業でありながらも家族経営であり、動物や植物を扱うのに愛情を持ってやっていると感じました。

(新崎) オランダで見たのは、経験と勘だけではなく、データと科学的理論に基づいた生産活動。またそれを支えるコンサルや研究機関の地域集積。技術だけでなくソフトも合わせて総合産業化しているということです。そして、長期ビジョンと市場開発。求められるのはまさに「経営能力」です。たとえばコッパート・クレス社は、小売りを相手にせず、直接トップレストランに野菜を高値で売っています。また、自社にレストランを作り、野菜の食べ方の研究もしています。ちなみにオランダでは、旧・農業省が経済省に統合され、農業は産業政策の一部を成しています。補助金も競争力強化に向けた研究開発にウェイトがおかれます。保護色強い日本とは大きな違いがあります。ちなみに農業法人の経営層には大卒の優秀な人材が流入して、このような人々が農業ビジネスをマネジメントしています。

○ 今後の展開

(宮原) オランダは園芸農業で世界のトップランナーです。コンテナ植物工場と新しく開発した接木口ボットをオランダで普及させ、世界一のお墨付きをもらいたい。異業種交流は革新の原点になり面白い。

(永井) 日本の農業もテクノロジーを追うのではなく、心が豊かになる農業を目指すべきです。そして今後は、サツマイモに付加価値を付けて、農家をそして鹿児島を日本を元気にしていきたいです。

(高橋) AIにとって農業は、最も応用がきく分野です。大学とも連携して、AIの研究と農業への応用を進めています。

(新崎) オランダばかりが進んでいるわけではなく、日本は日本なりのきめ細かさ・バラエティー（食味、栄養機能）といった強みがあります。両方のいいところを取り入れて、経済界から農業のビジネスモデル改革の糸口を作っていくいか。技術だけでなく経営力も一緒に発達したのがオランダの強みです。オランダ農業の強みは、日本の工業界が通ってきた道です。ぜひそのノウハウを農業に移転していってもらいたいです。

(弓場) 農業は産業であり、また、環境対策も重要です。「利は川下にあり」今マーケットは何を求めているのかを捉えながら、今後もこの研究会で皆で協力してスマート農業化をサポートできたらと思います。



各種活動紹介

◆84 プラザ

7月16日(火)

濱田酒造(株)の協力のもと、令和元年5月1日より地元の原料を使った焼酎「新・焼酎みしま村」を島内生産・販売して地域振興を図っている三島村村長 大山 辰夫 氏と、濱田酒造(株)専務 竹迫 昭人 氏に「みしま村焼酎プロジェクト」について講演してもらいました。

三島村にとても美味しい焼酎誕生です。



◆第77回ベンチャープラザ鹿児島「二水会」 11月13日(水)

第77回ベンチャープラザ鹿児島「二水会」をジェイドガーデンパレスで開催し、110名が参加しました。

ビジネスプランの発表は以下のとおりでした。

① 株式会社シナプラス【鹿児島市】

業務効率 UP を実現し、進化し続けるセルフオーダーシステム「SALTe(ソルテ)」

② 株式会社日置精工【日置市】

落花生回転式選別機などの開発、製造による食品分野等への進出及び販路拡大



③ 宝成産業株式会社【福岡市博多区】

自然の力でグリストラップの悩みを解消!清掃手間・費用・時間を全て解消するグリストラップソリューション

※ グリストラップとは、下水道に直接食用油や残飯、野菜くずなどが流出することを防ぐ阻集器の一種

◆第9回食と健康に関するシンポジウム 11月19日(火)

包括連携協力協定を結んでいる、鹿児島大学と鹿児島県工業倶楽部が、今年度で第九回目となる標記シンポジウムを鹿児島大学稻盛会館で開催し、218名が参加しました。今回は、「新技術が拓く!『食と健康の未来』」をテーマに、鹿児島の食品、農林水産物の魅力・効能などについて、その新たな可能性を探りました。

今回の概要は、下記のとおりでした。



〈特別講演〉 緯度も改善!食と体内時計の新たな関係

講演者:(国研) 産業技術総合研究所 バイオメデカル研究部門生物時計研究グループ長 大石 勝隆 氏

【講演I】世界品質の鹿児島産ウイスキー・焼酎づくりを目指す

講演者:本坊酒造株式会社 専務取締役 谷口 健二 氏

【講演II】クラウド・AIを活用したブリ養殖システム化の取組み

講演者:黒瀬水産株式会社 生産推進部課長 福嶋 久史 氏

【講演III】スマート農業の今 in オランダ~工業倶楽部視察報告

講演者:鹿児島県工業倶楽部副会長 弓場 秋信 氏

【講演IV】”血管病を防ぐ”桜島大根の新たな価値を地域に活かす

講演者:鹿児島大学農学部 講師 加治屋 勝子 氏



パネルディスカッション

パネリスト 講師5名 (大石勝隆、谷口健二、福嶋久史、弓場秋信、加治屋勝子)

司会 鹿児島大学産学・地域共創センター長 前田 広人 氏

◆八日会

12月10日(火)

今回はサンロイヤルホテルにて、田中 高逸 氏の「黄綬褒章受章記念会」ということで開催されました。

おめでとうございました。



地域の未来を創る、次代を担う若手経営者紹介

みなぎる好奇心が今を創り、その経験を通して、新しいコトへ挑む日々！

鹿児島への想いや、協力してくださった人々への感謝の気持ちなど、文字に表現できない程賜りました。

辛酸・苦悩・光明、涙とたくさんの汗。一層の飛躍・成長を期待いたします。



IT技術者をこえた「モノづくり」を楽しみ、お客様と一緒に考え、創っていきたい。

弊社は一言で言えばコンピュータシステムの受託開発で、お客様が必要とするコンピュータシステム（すなわちソフトウェア）の開発を行う仕事が主です。最大の特徴は、IT業界以外のメーカーさんや技術商社さんが展開している様々な製品にバンドルするシステムの開発を直接受託している点です。

つまり、ITの専門家としてお客様に対するシステムコンサルタントから開発および製品として世にリリースされるまでお付き合いするという総合的なサービスを開拓しているということになります。

私自身、社会に出てからずっとIT企業の技術者としてソフトウェアをゼロから考えて作るということを喜びとして仕事を続けてきました。しかし、この業界は昔から比較的新3K（きつい、給料安い、帰れない）の色合いが濃い業界で、仕事そのものの楽しさの割には苦しいことも多かったです。そんな状況が続いた31歳のときに、せっかく技術をもって楽しい仕事をやってるんだから、「鹿児島で気持ちよくITの仕事をしつつ、プライベートも楽しめる職場を自分で作ろう！」と考えて起業しました。

弊社の最大の魅力は、大きな市場に出ていくお客様の製品にバンドルするソフトウェアを開発するということで、IT技術者という仕事だけに留まらない「モノづくり」に携われるというところだと思います。我々の本来の土俵であるソフトウェアというものはコンピュータの内側だけで動くものになりますが、それと組み合わさせて機械や装置が動いたりするのはとても楽しいです。

現在、社員全員が仕事を楽しんでいます。ちなみに私も現役バリバリの技術者で、どちらかというと社長業が兼業的な感じです。でも、売り上げだけを追求しすぎないように心がけています。

昨今、特にIT市場自体が活況を呈していく中で開発



株式会社 サンセイシステム
代表取締役 徳重 光政

〒890-0008 鹿児島市伊敷1丁目7-46
TEL:099-218-9203 FAX:099-218-9204
<http://www.sansei-system.co.jp/>



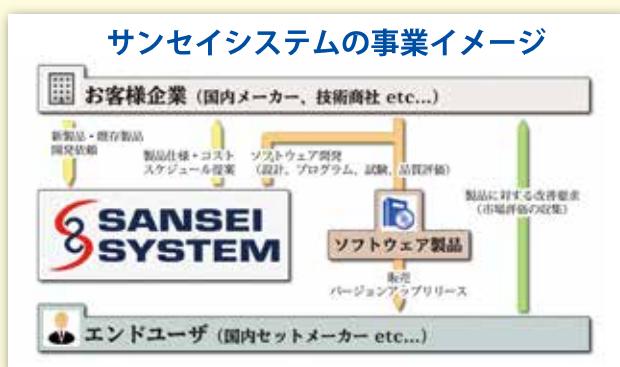
案件の引き合いも多いのですが、自分たちだけで残業無しでやれる以上の仕事は基本的に受注しません。また、協力会社も使いません。

もちろんこれを実現するためには開発期間の伸長、ひいてはお客様の製品リリース時期が遅れる場合も出てきます。これについてはその都度丹念に説明してご理解をいただいている。結局、モノづくりは無理やりに進めてもいいものにはなりませんし、品質不良を生むリスクも高まります。無茶なモノづくりは、お客様からの不信感と余計なコストを発生させる要因となり、結果的に苦しむのはお客様を含む関係者すべてになると想っています。

実際これまでの会社の歴史の中で売り上げを追求して皆で頑張って仕事をしていた時期もありましたが、品質問題、納期問題、失敗コストの増加などでいいことはありませんでした。その意味でも身の丈を基本とします。

今後はIT業界のシステム開発現場においてもAIの活用が広がっていくと予想されます。そんな環境の中で生き残っていくために、AIをライバルと位置付けて人間にしかできないアイデア創出からシステムの実現をお客様に提供しつづけ、自分たちの仕事がAIに奪われないことを最大の目標としています。また、最終的にはライバルであるAIを知ることにより、将来的にAIそのものの開発に関わっていくことも一つの目標としています。

現在はAI開発自体が比較的ハードルの高い分野になっていますが、近い将来には技術発展によってAI開発自体の敷居が下がってくるとも予想しており、アイデア次第でユニークなAIシステムの開発ができるようになると想っています。





鹿児島の産業の発展のために、新しい風を。



水本 浩二(株式会社アーキ・プラン 専務取締役)

令和元年に入会させていただきました株式会社アーキ・プランです。

弊社は平成元年に設立、平成31年4月に開設30周年を迎えた建築設計事務所です。主な業務は建築物の設計・監理業務ですが、建築物や周辺環境に関する調査・分析並びに、企画・構想・計画策定等の支援サービスも展開しております。

鹿児島県工業俱楽部におかれましては、大変興味深い取り組みが行われ、個性的で魅力的な会員の方々が多数活躍されていると伺っております。

皆様方との交流を深めながら、刺激を受けて多くを学び、善き動機をもって自身の活動や事業にも活かし、社会への貢献ができればと考えております。

今後、ご指導のほどよろしくお願ひいたします。



福留 博文(有限会社 アジャスト)

この度入会させていただきました有限会社アジャスト福留博文と申します。

弊社は、歯科技工所と、職業訓練校(歯科助手コース・介護初任者コース)を運営しております。

2017年には歯科技工士発案、誰にでも簡単に片手で入れ歯を磨くことが出来る「デンチャーブラシ」を開発・販売する部署を新たに立ち上げました。

現在は、「清潔な入れ歯で日常を過ごし、健康寿命を延ばしていただきたい」との思いから、正しい入れ歯の洗浄方法の周知活動をセミナーや展示会を通じて行っています。

弊社は「高齢者の自立支援」と、「介護者の負担軽減」を目指し、歯科から介護を支えてまいります。

今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。



下川 修一(一般社団法人九州ミャンマー友好協会理事、鹿児島支部長)

当協会の目的はミャンマーと文化、経済、福祉の交流を増進し相互の友好と親善を確立させることをうたっております。主な事業としてミャンマーで日本語学校の運営、職業訓練センターでの教育、ITは大学と提携し日本では監理組合を運営しています。

また人材交流支援を行いながら経済活性化に向けた事業プランの提供、シニア人材によるナレッジ提供のルート作り、定年後のライフシフトのワーケーションプログラムの提供作りなど、シニア世代とミャンマーの青年双方に好循環が生まれるようなプラットホーム組織作りをしています。ミャンマーには多くのビジネスチャンスが眠っています。

まず足を運んでもらい、目で確かめ、肌で感じてくだされば幸いです。今後ともよろしくお願ひいたします。

食品以外にも、故郷鹿児島の自然や農産物の応用、また様々な科学や技術発展に興味は尽きず、生涯一技術者として研鑽を積み続けたいと考えております。

どうぞよろしくお願ひいたします。





共に鹿児島の産業を興し造っていきましょう。



上赤 笑子(鹿児島県農業開発総合センター)

この度、オランダへの先進地研修を機に入会させていただき、感謝しております。

現在、鹿児島県農業開発総合センターで農業専門指導員をしております。県内様々な地域を転勤しまして、農家の皆さんと地域農業の課題解決に取り組んできました。今後は工業俱楽部の皆様との交流をとおして、かごしまの素晴らしい地域資源を活かし、地域に貢献していきたいと思います。



西 里美(社会福祉法人塔ノ原福祉会アフタースクール錦ヶ丘)

kagoshima 热闘会議会員の西里美と申します。この度、縁あって、オランダスマート農業視察に参加させて頂きました。小学校教員13年。歯科医院受付・秘書・助手の経験もあります。現在、社会福祉法人塔ノ原福祉会アフタースクール錦ヶ丘に入所している小学生を対象とした放課後の支援をしております。連日、子どもたちや保護者の方々へ、教員時代では出来なかった関わりが出来ることに喜びを感じております。

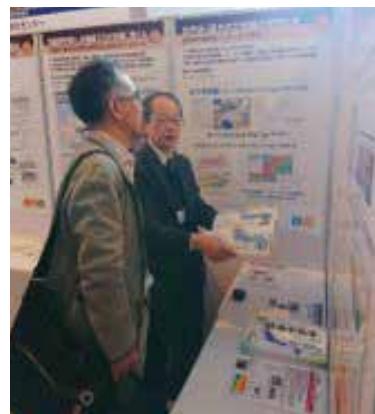
工業俱楽部の方々と話をさせて頂きましたと、毎回ワクワク夢が広がります。これからもよろしくお願い申し上げます。

産総研テクノブリッジフェア in 九州 2019 九州ものづくり連携推進フェア

12月16日(月)に、九州・沖縄各県の工業団体連合会の会長・会員企業に、全国に展開する産業技術総合研究所(略称: 産総研)の研究開発とその成果の「橋渡し」を図る「産総研テクノブリッジフェア」が鳥栖市民文化会館および産総研九州センターで開催され、工業俱楽部から会長以下6名が参加しました。ポスター・パネル展示では、産総研の7つの研究領域の研究テーマのポスター・パネルが展示され、産総研イノベーションコーディネータからの説明を受けました。また、各企業が抱える技術的課題について相談すること



ともできたほか、ラボツアーでは、小ロットでも半導体を製造できる設備を見学できるなど、非常に興味深いイベントでした。



ほのかに甘く、香り豊かな味わい。
日本初 鹿児島シナモン



1. 商品の PR・ストーリー

薩摩藩が研究した本草学と五代友厚が日本で最初に始めた紅茶（シナモン）研究を今に引き継ぐ平成の薩摩本草紅茶（シナモン）の開発により、シナモンと紅茶の香りが程よくブレンドされた爽やかな鹿児島シナモン紅茶が誕生。

2. 原材料

霧島の山奥で育った有機無農薬のべにふうき紅茶と鹿児島県内で栽培されたシナモンをブレンド。カルシウム・鉄分・マンガンなど女性にうれしい成分が豊富に含まれており、健康維持・増進にも役立つと言われています。

3. テーマとの関連性

幕末明治の資金源だった紅茶と薩摩藩の資金源だった肉桂（シナモン）は、薩摩が明治維新を成功させるために必要だった2つの商品だったのです。

2016 かごしまの
新特産品コンクール
鹿児島県観光連盟
長賞受賞



ほのかに甘い、
香り豊かな味わい。

他に鹿児島シナモン
を使ったお菓子も
好評販売中です!

- ・黒糖シナモン
バターサンド
- ・シナモンダクワーズ

鹿児島シナモンは、世紀産業(株)と鹿児島大学、仙巖園の共同マーケティング戦略商品です。

[製造元] 世紀産業(株)

鹿児島市下荒田2丁目30-5 TEL 099-812-1543 FAX 099-258-2655

ミャンマー人材なら、 お任せ下さい。

HARMONY SERVICES COMPANY LIMITED

技能実習生・エンジニア専門送り出し機関

本社: No.255, 40th Street, Kyauktada Township, Yangon, Myanmar.

メール: harmony.japanjob@gmail.com

担当: テツナウン 日本語対応可 (+959-2500-37008)



私たちは鹿児島と
ミャンマーをつなぐ
スペシャリストです。

Official Partners



ミャンマー・コンピューター
連合会



モービ工科大学



熊本 湖東学園



主要取引先

鹿児島連絡事務所



九州ミャンマー友好協会(鹿児島支部)
〒892-0816 鹿児島県鹿児島市山下町9番1号
メール: shimokawa5541@gmail.com
担当: 下川秀一 電話: 090-8762-2694